



教育目標 英知の風かおり 友愛の情ふかく 精励の志つねに

中野中学校だより

令和5年2月22日(水) 発行 第10号

『 優しさの循環・・・』

校長 田代 雅規



2月6日にトルコ南部でマグニチュード 7.8 の大きな地震があり、広い範囲で多数の建物が倒壊し、トルコとシリアの両国で合わせて3万5千人以上の人々が亡くなったというニュースがありました。日本の国際救急救助隊の先発隊 18人が現地入りし、被災者支援をしているという報道がありました。

1890年(明治23年)、和歌山県沖で台風による強風にあおられトルコ軍の軍艦エルトゥールル号が座礁しました。その時、海に放り出された船員たちを、嵐の中、村人たちは、自分たちも食べるものに困っていたにもかかわらず、命がけで助け、身体で暖め、最後の食料であった鶏をつぶして食べさせ、献身的に生存者たちの救護に努めました。その結果、樫野村の寺や学校に収容されたトルコ人69名は、無事にトルコに帰ることができました。

この事故は、日本全土に瞬く間に伝わり、多くの義援金がトルコの遺族のために集められました。それらの義援金を携えてイスタンブールに上陸したのが山田寅次郎です。彼は、民間人ながら、外務大臣に義援金を直接手渡し、さらに皇帝アブドゥルハミット二世にも会いました。彼はそのままトルコに留まり、士官学校で若者たちに日本語と日本文化を教えました。その教え子の中に、トルコ共和国初代大統領ケマル・アタチュルクがいたと言われています。

それから、95年後の1985年、イラン・イラク戦争が起こりました。イラクは、イラン上空の航空機に対する制限を定めた無差別攻撃宣言を行いました。他の国は、期限までにイラン在住の国民を軍用機や旅客機で救出しましたが、日本は自衛隊の海外派遣の不可の原則のため自衛隊機による救援ができなかったうえ、日本航空はイランとイラクによる航空安全の保証がされない限り危険すぎて臨時便を飛ばすことはできなくなりました。世界で日本だけが立ち往生する国民に手を差し伸べられずにいました。テヘラン空港に残されたのは日本人だけでした。



タイムリミットまであと1時間15分となった時に、2機のトルコ航空の飛行機が日本人の救出に向かいました。その飛行機は、日本人215名全員を無事に成田空港まで送り届けてくれました。当時、イラクには600名を超えるトルコ人がいました。100名ほどは、定期便で帰国し、残った500名は、テヘランからイスタンブールまで車で3日以上かけて帰らせました。なぜ、トルコ航空の飛行機が日本人を助けてくれたのでしょうか。この問いにトルコ大使は、「エルトゥールル号事件での日本人の優しさは、トルコの教科書にも載り、トルコ人なら誰でも知っています。これは、100年前の恩返しです。」と答えたそうです。

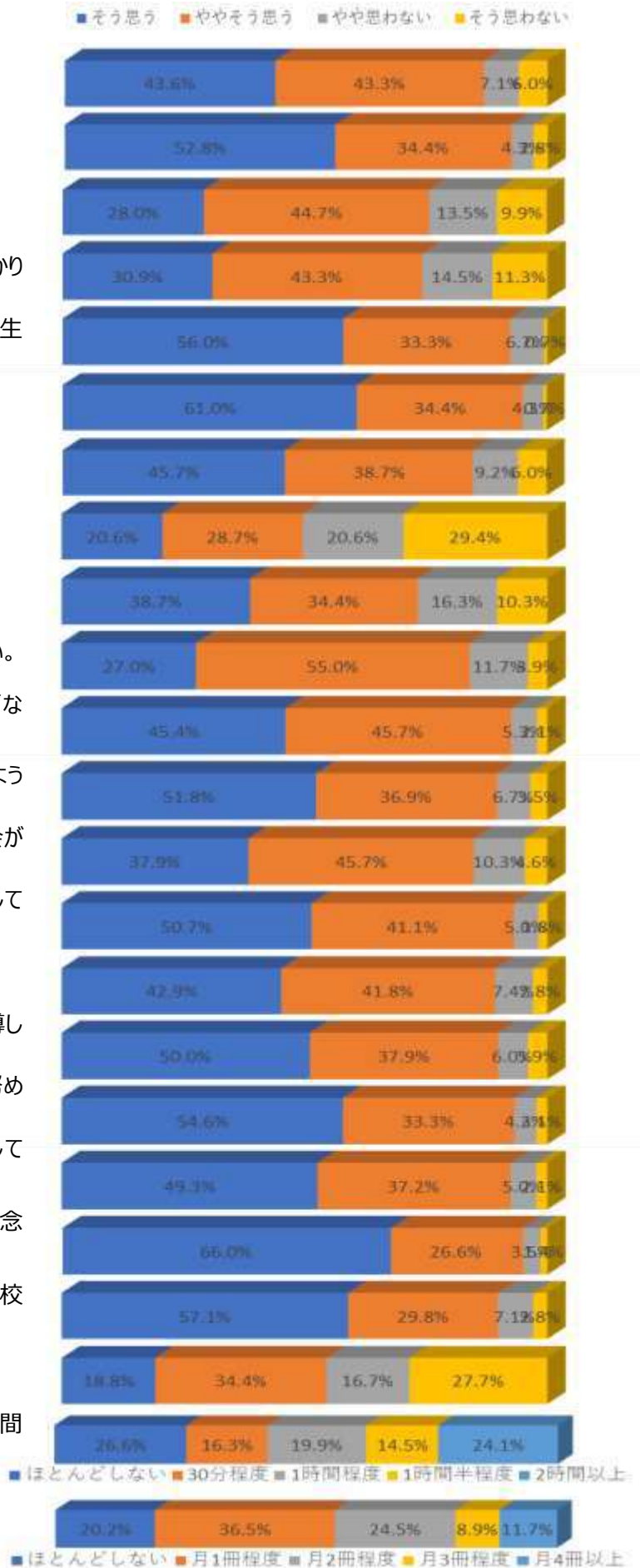
20年後の1999年8月17日、今度はトルコ北西部イズミットでマグニチュード7.6の大地震が発生しました。死者は、17,000人、建物も倒壊し60万人が家を失う大惨事でした。その時、215名の日本人は、日本中を駆け回り、義援金を集めてトルコに送りました。

そして、今度は2011年3月11日、日本に東日本大震災が起こりました。最も遅くまで残って日本に支援をし続けてくれた国はトルコだそうです。困っている人がいる。誰かが助けてあげる。助けてもらった人が、また困っている人を助けてあげる。トルコの人たちと日本人のように優しさはどこまでも繋がっていきます。

誰かが困っているときに助けてあげる。助けられた人が、また次に困った人を見たときに助けてあげる。そんな優しさの循環が中野中生の周りにつながっていくことを願っています。

生徒アンケート全校集計結果


- 1 毎日の学校生活は楽しい。
- 2 中野中学校の生徒になって(入学して)良かった。
- 3 目標をもって学校生活を送っている。
- 4 早寝、早起き、朝ご飯を心がけ、体調管理をしっかりとしている。
- 5 人が嫌がることをしないなど、思いやりの心をもって生活している。
- 6 学校生活のルールを守って生活できている。
- 7 学校内で自分から挨拶している。
- 8 ボランティア活動に参加している。
- 9 読書を積極的にしている。
- 10 授業は、基礎学力が定着できるようにわかりやすい。
- 11 授業は、話し合う機会や友達の意見を聞く場面など、主体的な活動が工夫されている。
- 12 先生は、生徒が意欲をもって授業に参加できるようなプリント作成や ICT の活用等を工夫している。
- 13 授業は、発展的・応用的な内容を学習する機会がある。
- 14 先生は、評価・評定の仕方について十分に説明している。
- 15 先生は、困っていることについてよく対応してくれる。
- 16 先生は、生徒のよくない態度や言動について指導している。
- 17 先生は、いじめのない楽しい学校・学級づくりに努めている。
- 18 中野中は、生徒会活動や委員会活動が充実している。
- 19 中野中は、運動会や合唱コンクール、10周年記念式典等学校行事を工夫して取り組んでいる。
- 20 中野中は、部活動に積極的に取り組んでいる学校である。
- 21 自習室を活用している。
- 22 1日(平日)あたり、家庭学習は平均すると何時間やっていますか。
- 23 月に平均すると何冊くらい読書をしていますか。



令和4年度 学校に関する生徒アンケート 集計の結果

全校生徒を対象に、学校生活に関するアンケート調査を実施しました。生徒が回答しやすいように iPad を活用して実施しました。

肯定的な評価（「そう思う」「ややそう思う」という回答の合計）の高いものは以下のものでした。

No6 学校生活のルールを守って生活できている。 95.4%	
No19 中野中は、運動会や合唱コンクール、10周年記念式典等、学校行事を工夫して取り組んでいる。 92.6%	
No14 先生は、評価・評定の仕方について十分に説明している。 91.8%	
No11 授業は、話し合う機会や友達の意見を聞く場面等、主体的な活動が工夫されている。 91.1%	

No6 からは、学校生活のルールを多くの生徒がきちんと守って生活できていることが分かります。学校の決まりなども生活委員を中心に話し合って決めています。自分たちで決めたことをみんながきちんと守っていく中野中の生徒の素晴らしいところだと思います。

No19 は、今年度運動会は、生徒の実行委員を中心に自分たちで種目を考えて実施しました。運動会の委員もボランティア生徒を中心に行いました。合唱コンクールも生徒の実行委員会を中心に当日の司会・進行を行い、有志による記念合唱も行いました。また、11月に実施した10周年記念式典でも、有志による K-POP ダンスやブレイクダンスを企画しました。これからも生徒が一番楽しみにしている学校行事では、生徒たちの意見を取り入れながら中野中独自の学校行事を作り上げていきます。No11、No14 は、学校生活で大切な授業の項目です。この他にも、授業の項目は以下の結果でした。

No12 先生は、生徒が意欲をもって授業に参加できるようなプリント作成や ICT の活用等を工夫している。 88.7%
No13 授業は、発展的・応用的な内容を学習する機会がある。 83.6%
No10 授業は、基礎学力が定着できるようにわかりやすい。 82.0%

新学習指導要領にある「主体的・対話的で深い学び」については、授業の中で話し合う活動を積極的に取り入れてきたことが生徒たちからも評価されました。また、評価・評定についても常に授業の中で、説明をしてから実施するようになってきました。そのことも多くの生徒たちから理解されていることが分かります。授業における基礎・基本の定着、発展的・応用的な内容の導入等は、数学や英語は、少人数習熟度別指導を次年度も実施しますが、他の教科でも今まで以上に取り入れて実施していきます。さらに、今年度は新型コロナウイルスの対応として、家庭科や美術では1学級を2つに分けた少人数指導を実施しました。長い間できなかった調理実習も人数を減らして、感染対策を取ることで実施できました。美術の授業でも少人数にすることで、道具もいきなり、作業に集中できるようになりました。これからも全教科で授業改善に取り組み、生徒の学力の向上につなげていきます。



逆に評価の低かった項目は、以下の通りです。

No8 ボランティア活動に参加している。	49.3%
No3 目標をもって学校生活を送れている。	72.7%
No9 読書を積極的にしている。	73.1%
No4 早寝、早起き、朝ご飯を心がけ、体調管理をしっかりとしている。	74.2%



上記の項目については、まだまだ完全終息とならない新型コロナウイルスの影響もあると思います。ボランティア活動も少しずつできるようになってきましたが、以前に比べて活動が少ない実態もあります。制約の多い中で、目標をしっかりとてない生徒も少なくないことが分かります。

また、スマホやタブレットの影響もあり、読書をする機会が少なくなっていることも分かります。学校では、朝読書や読書週間を設定し、読書活動の推進に努めていますが、「No23 月に平均すると何冊ぐらい読書をしていますか」という項目では、ほとんど読書をしない（11.7%）、月に1冊程度（36.5%）と読書の機会が減っていることが分かります。中学生は、部活動や習い事等、忙しいのは分かりますが、本の楽しさや良さをこれからも学校で指導していきます。

「No22 一日（平日）あたり家庭学習は平均すると何時間やっていますか。」という問いには、ほとんどしていない（24.1%）、30分程度（16.3%）でした。これは、塾の時間を除く勉強時間ですが、30分以下の生徒が40%近くいることが分かりました。試験前には、今年度設置した自習室で遅くまで勉強している生徒も増えてきました。

中野中では、職業調べや職場体験、上級学校調べや上級学校訪問等、キャリア教育の充実を図り、将来の目標をしっかりとめ、自分から進んで学習に取り組んでいくように指導していきます。

No15 先生は、困っていることについてよく対応してくれる。	84.7%
No17 先生は、いじめなどのない楽しい学校・学級づくりに努めている。	87.9%

精神的に不安定になったり、病気になったり、様々な課題を抱えている生徒たちがいます。スクールカウンセラーや養護教諭、児童相談所等とも連携しながら、全教員で対応してきました。100%の生徒が安心できるようにこれからも努力していきます。中野中では、年間3回「いじめアンケート」を実施し、いじめの早期発見・早期解決に努めています。アンケートだけでなく、常に生徒一人ひとりの様子に目をくばりながら丁寧な対応を行っていきます。

令和4年度 異動・退職する教職員のお別れの会

今年度より、東京都教育委員会は、例年4月1日に発表していた教職員の人事異動を3月22日（水）に発表することになりました。東京都教育委員会のホームページや新聞で発表されます。

つきましては、例年5月に実施していた異動する教職員のお別れの会を中野中では、下記の日程で実施します。特に3年生は、卒業式の後になりますので、参加を希望する生徒は制服で体育館に集合してください。



お別れの会 日時 令和5年3月24日（金） 午前11時30分～12時15分 体育館